

アクティブマトリクス型カラー有機 EL パネルを開発

東北パイオニア株式会社は低温ポリシリコン TFT を用いたアクティブマトリクス型カラー有機 EL パネルの開発に成功いたしました。これは高性能な低温ポリシリコン TFT を用い、高速駆動を行い、TFT のばらつきに対して有利になるデジタル時間階調方式を実現しています。

当社は 1997 年秋、世界で初めてパッシブ型有機 EL ディスプレイの製品化に成功し、販売を開始致しました。現在はカーステレオ用表示パネル、携帯電話用パネルなどに有機 EL の量産事業を展開しております。

アクティブ型有機 EL ディスプレイは TFT により、各画素を常時点灯させることができるため、低電圧、小電流で高輝度が得られます。さらに、アクティブ型は駆動回路をパネル上に内蔵できることから表示エリア周辺の配線エリアを狭くすることができ、パネルの小型化が図れます。

当社はパッシブ型、アクティブ型それぞれの特徴を生かしながら両方の有機 EL ディスプレイのカラー化に取り組み、より幅の広い商品化への応用を目指してまいります。

この試作品は 10 月 3 日から幕張メッセで開催される『CEATEC』に出品いたします。

【試作品の主な仕様】

パネル構造	アクティブマトリクス
表示エリアサイズ (W×H)	2.1 インチ (34.8 mm × 38.8 mm)
画素数 (W×H)	176 (xRGB) × 192
画素ピッチ (W×H)	0.066 mm (xRGB) × 0.202 mm
開口率	40%
表示色	4,096 色 (各色 16 階調)

お問い合わせ先

東北パイオニア株式会社経営計画部

電話：023 - 654 - 9355、ファクス：023 - 653 - 8151